

学 習 指 導 案

月 日	平成24年4月20日(金)		時 限	1・2時限	
グリーンテカ系列	3年4組(15名)		場 所	C22・野菜温室	
単元名	第4章 野菜栽培の実際				
単元の目標	各野菜について、一般的特徴や生育の特徴を理解した上で、栽培管理の技術や方法について学ぶ。 また、品質にもふれ、良い野菜を見分けられる力を育てる。				
指導計画	アールスメロンの栽培・・・・・・・・・・14時間(本時はその5・6時間目) イチゴの栽培・・・・・・・・・・12時間 果菜類の特徴と栽培管理・・・・・・・・12時間 葉菜類の特徴と栽培管理・・・・・・・・6時間 根菜類の特徴と栽培管理・・・・・・・・6時間				
本時の目標	アールスメロンの整枝法について、実際の栽培を通して理解する。				
準備	「野菜(実教)」教科書、野菜ノートファイル、クリップ、コンテナ、かご				
	学習活動	学習形態	時間	指導上の留意点	評価
	出席確認	一斉	3分	・前回までの栽培管理について復習する。	・本時の授業内容が理解できた。
	学習内容の説明		5		【知】
	実習作業の説明と確認		5	・本時の実習の意義について理解させる。	・説明をよく聞いていた。【関】
	温室へ移動		5		
	模範作業		3	・作業の手本を見せる。	
	摘芽(側枝取り)	個人	8	・生徒の間を巡回し、個別指導する。	・作業を意欲的かつ適切に行っていた。【関・思・技】
	誘引		8		
	スケッチ		8		
	片付け		5		
	移動休憩		10	・素早く教室へ移動するよう指示する。	・メロンの状態をよく観察していた。【関】
	メロン栽培の整枝法について	一斉	20	・実習作業を振り返りながら指導する。	・整枝法と着果習性が理解できた。【知】
	地ばい栽培の整枝法			・教科書の図を参考にする。	
	立体栽培の整枝法				
	メロンの着果習性について	一斉	15		・ノートによくまとめた。【思・技】
	まとめ・ノート整理		10	・まとめることにより理解を深める。	・次回の実習に意欲を示した。【関】
	生徒の自己評価				
	次回の授業説明		5	・次回の実習予定を説明し、生徒の意欲を継続させる。	

注：評価の観点については、表中に以下のような記号を使用してその項目を表している。

関心・意欲・態度：【関】，思考・判断・表現：【思】，技能：【技】，知識・理解：【知】